

地域包括ケアシステム構築のあり方に関する研修会

～発見!中山間地域だからこそ展開できる地域包括ケア～

鼎

談

中山間地域における 地域包括ケアシステムの未来を創造する



白山 靖彦

徳島大学大学院医療薬学研究部地域医療臨床学分野特任教授



後藤 忠雄

岐阜県・県北西部地域医療センター長兼国保白鳥病院院長



堀田 聡子

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授

●特別発言

込山 愛郎

厚生労働省老健局振興課長

- 1 (講評) 事例報告等から学ぶべきこと
- 2 (考察) 中山間地域における地域包括ケアのあり方を考える上でのポイント!
- 3 (提案) 中山間地域における地域包括ケアの取組のアイデア

後藤 忠雄 (Tadao Goto)

1989年3月自治医科大学卒業
1989年4月岐阜県立下呂温泉病院
1991年4月和良村国保病院
1996年4月自治医科大学地域医療学助手
1998年4月和良村国保病院副院長
1999年7月和良村国保病院病院長
兼 和良村介護老人保健施設施設長
2000年4月兼 和良村保健福祉総合施設長
2001年4月兼 和良村健康福祉局長
2004年3月(合併により)郡上市和良地域健康福祉局長
兼 郡上市国保和良病院病院長
兼 郡上市和良介護老人保健施設施設長
2007年8月郡上市地域医療センター国保和良診療所所長
兼 郡上市地域医療センター和良介護老人保健施設長
2008年4月兼 郡上市地域医療センターセンター長
2015年4月兼 県北西部地域医療センターセンター長
兼 県北西部地域医療センター国保白鳥病院病院長

白山 靖彦 (Yasuhiko Shirayama)

徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域医療福祉学分野 教授
徳島大学歯学部副学部長／徳島大学病院長補佐 併任
三重県福祉行政に勤務する傍ら、川崎医療福祉大学大学院で医療福祉学博士(Ph.D)を取得。その後、静岡英和学院大学人間社会福祉学部(准教授)に勤務後、現職にいたる。専門は医療福祉学であり、特に高次脳機能障害(cognitive dysfunction)に関する研究に従事。現在では徳島県地域包括ケア推進会議委員や学会(ToCCS)の代表幹事を務め、県・市町村行政とも連携し、徳島県版包括ケアのあり方を探求。

堀田 聡子 (Satoko Hotta)

京都大学法学部卒業後、民間シンクタンク研究員、東京大学社会科学研究所特任准教授、オランダ・社会文化計画局研究員 兼 ユトレヒト大学社会行動科学部訪問教授、労働政策研究・研修機構研究員、国際医療福祉大学大学院教授を経て2017年4月より現職(医学部兼担)。博士(国際公共政策)。

社会保障審議会・介護給付費分科会及び福祉部会(厚生労働省)、政策評価審議会(総務省)等において委員を務めるほか、医療介護福祉政策研究フォーラム理事・地域包括ケアイノベーションフォーラム事務局・人とまちづくり研究所代表理事等として、地域包括ケア・地域共生社会、compassionate community, dementia friendly community 等を手がかりに、より人間的で持続可能なケアと地域づくりに向けた移行の支援及び加速に取り組む。中学生の頃より、おもに障害者の自立生活の介助を継続。訪問介護員2級/メンタルケアのスペシャリスト。日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー2015 リーダー部門入賞。

タイトル：徳島県地域包括ケアシステム学会 (ToCCS) の設立と活動内容

●活動のきっかけ・経緯

徳島県では、2020年までに地域包括ケアシステムの均てん化を図るとして、県・市町村は、介護保険事業を中心とした様々な事業を実施しています。そこで徳島大学・病院は、専門職と地域をつなぎ、行政手法のトップダウン型と異なるボトムアップ型の手法を用い、医療や福祉、行政等で抱えている問題点や成功例を共有する知の集積場となる「徳島県地域包括ケアシステム学会(ToCCS)」を県と協働して平成29年3月に設立しました

学会ホームページ：<https://www.toccs.jp/>



●活動内容、効果等

1) 第1回学術集会

平成29年8月27日(日)

参加者：385名，ポスター：35演題

展示：8企業

2) 包括ケア実践研究者人材育成

「はじめての学会発表How to」

I・II 参加者：75名(医療福祉専門職)

3) 会員

個人会員：1,550名(平成29年12月)会費無料

団体会員：25団体，賛助会員：10団体

4) 効果

今日まで、医師会などをはじめとする研修・研究会はすでに数多く開催されていますが、ToCCSによって情報をより簡便に共有することが可能となり、学術集会や研修会を通し、多職種による顔のみえる関係づくりに大きく貢献しました。また、行政関係者も交流参与することで、施策の推進にも寄与しました



●今後の予定等

1) 第2回学術集会 平成30年8月26日(日)徳島大学大塚講堂 大会長 稲次正敬

2) 県内地域包括支援センター35か所間の連携強化を支援する方策を検討します

3) 医科，歯科，看護・保健，リハビリ，栄養，社会・介護分野および行政，地域住民が協働できる仕掛けづくり(リビングラボ)を創設します

4) 県内市町村への街づくり支援のため，人材育成・派遣を行います。